〈有馬図書館開館10周年記念・図書館まつり催し物〉

日時	内容	時間	会場	備考
3日(祝)	おはなし会	午後3時30分～4時	有馬図書館 多目的室	4歳以上対象
5日(金)	おはなし広場	午前10時30分～10時50分 〃 11時20分～11時50分	有馬図書館 多目的室	未就園児対象
6日(土)	人形劇「町のねずみといなかのねずみ」	午後2時～3時30分	門沢橋コミセン集会室	申込み制
7日(日)	映画会「イエローストーンのふたごの子熊」 映画会「グスコーブドリの伝記」	午前10時～11時 午後2時～3時30分	有馬図書館 多目的室	入場自由(直接会場へ)

※11月3日(祝)～7日(日) 本リサイクル市を有馬図書館玄関ホール前エントランスホールで実施。袋をご持参のうえ来館ください。
※11月3日(祝)～7日(日) 展示部門として「図書館事業活動の紹介」コーナー設置。
※その他、記念誌の作成を予定しています。

有馬図書館まつり

開館10周年記念

ご家族でご参加を

有馬図書館開館10周年を記念して「図書館まつり」を11月3日(祝)～7日(日)、同館で開催します。おはなし会・映画会・人形劇・本リサイクル市など盛りだくさんの内容です(上表)。子どもから大人まで楽しめるイベントですので、ご家族でご来場ください。

問 同館(☎238・4646＝月曜休館)。

●海老名市史講座

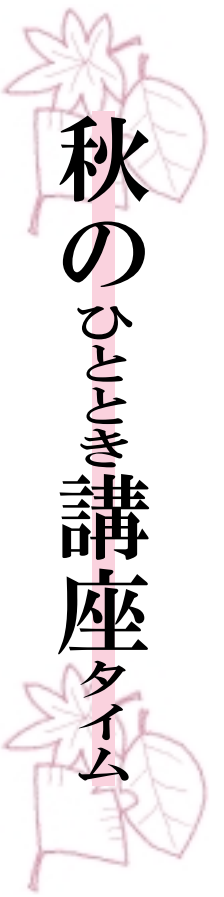
郷土の古文書を読もう

市史叢書(そうしょ)『郷土の近世文書を読む』をテキストに、近世海老名当時の人々の暮らしぶりなどを古文書を通して学びます。

▽開催日 11月14日・21日・28日・12月5日・12日の各日曜日(全5回) ▽時間 午前10時～正午 ▽場所 中央公民館 ▽定員 60人 ▽教材費 200円 ▽講師 市史総括編集委員・神崎彰利氏(11月14日のみ)・市史編集補助委員・原和之氏。

申 問 電話で文化財課市史編さん担当へ。

秋のひととき講座タイム



●中央図書館「俳画講座」

～俳画を学ぼう～

▽日時 11月24日・12月1日・8日の各水曜日、午後1時30分～3時30分、12月15日(水)午前10時～正午 ▽会場 教育センター理科室 ▽対象・定員 市内在住在勤在学の方優先・25人(先着順) ▽内容 講師に木村緑穂氏を招いて、俳句に画を連結させた俳画を学びます(年賀状等にも使えます) ▽持ち物 筆(大・中・小)、すずり、墨、フェルトの下敷き、文鎮、試し皿1枚、絵の具、タオル2枚、筆洗い ▽参加費 教材費として500円程度。

申 問 11月5日(金)午前9時から電話または直接中央図書館(☎231・5152＝月曜休館)へ。

●第5回下今泉コミセン講座

薬物乱用の現状と恐ろしさ

▽日時 11月27日(土)午後2時～3時30分 ▽会場 下今泉コミセン(車での来場不可) ▽定員 60人 ▽講師 保護司・碓井馨氏。

申 11月25日(木)までに電話で下今泉コミセン(☎231・3750＝火曜休館)へ。

問 生涯学習課(☎231・9702＝火曜休館)。

●第5回東建コミセン講座

相模鉄道の生い立ち

相鉄線の歴史と共に、車両の変遷やエピソードなどを紹介。

▽日時 11月10日(水)午前10時～正午 ▽会場 東建ふれあい会館(駐車場なし) ▽定員 50人 ▽講師 かしわ台駅管区長・中久喜保氏。

申 問 電話で11月8日(月)までに生涯学習課(☎231・9702＝火曜休館)へ。

●有馬図書館定例映画会

▽日時 11月13日・20日(土)午前10時30分～11時 ▽内容 13日＝「おばけ煙突のうた」、20日＝「しあわせ色のステージ」 ▽対象 幼児以上 ▽会場 有馬図書館多目的室(直接会場へ)。

問 同館(☎238・4646＝月曜休館)。

21日(日)開催 みんなの消費生活展

▽日時 11月21日(日)午前10時～午後3時 ▽会場 市役所1階ロビー ▽内容 ▼展示コーナー…市内の消費者団体や協力団体によるパネル展示。楽しい計量クイズ ▼手作りコーナー…ペーパークラフト教室 ▼相談コーナー 薬剤師会による薬の相談 ▼消費者被害未然防止キャンペーンも同時開催。

問 広聴相談課広聴相談担当。

今月の納税・納付

―納期限は11月30日(火)です―

◆国民健康保険税(6期)
◆清掃手数料
(会社等＝10月分)
◆市営住宅使用料(11月分)
◆保育所保育料(11月分)
◆介護保険料(6期)

安全・便利な口座振替の利用を

環境まめ知識

「食」からの環境保全

過ごしやすい気候になり、いよいよ食欲の秋ですね。「食」はだれもが毎日関わることで、環境を保全するうえでも大きなポイントになってきます。そこで今回は、「食」にかかわる環境保全のヒントを紹介します。

適量の食材

○買い物

店には季節を問わずに並ぶ野菜、輸入食材が多くあります。季節外れの野菜や果物は、温室で育てるため収穫までに多くの光熱費がかかっています。また、遠隔地で生産されたものは輸送のための燃料を要します。買い物のときには「旬の地場産」を中心に選ぶように心がけましょう。

そして何より食材を余らせないように、買い過ぎないことが大切です。

余熱の利用

○料理

調理をすると生ごみがでますが、きれいに洗って皮ごと使ったり、「へた」も皮をむくように削りとれば生ごみは半減します。野菜くずや芯は残りご飯と煮て、ペットフードにも。野菜をゆでるときは、お湯を使い回し、汚れが少ないものから調理をすることで鍋やフライパンを余計に洗わずに済みます。

お湯を沸かしたり、煮物をするときはふたをして中火で。余熱も上手に利用すればエネルギーが無駄になりません。

節水で省エネ

○片付け

洗い物で使った水は、川や海の汚れにつながります。下水道や浄化槽で、ある程度汚れは分解されますが、台所の排水が直接川に流れ込んでいる場合もあります。鍋や皿の汚れはふき取り、洗剤も必要以上に使わず、なるべく水を汚さないようにしましょう。

そしてつけ置き洗いとため水洗いで節水を。水も、各家庭に届くまでには電気を使っています。節水は省エネにつながるのです。

「食」にかかわる環境保全はまだまだいろいろなヒントがあります。インターネットなどで情報を集め、ぜひ実践してみてください。

問 環境保全課環境政策担当。

「心の病とともに生きる」

●講演会とフォーラム

市精神保健福祉地域交流事業実行委員会では、心を病む人たちが地域に正しく理解され、だれもが豊かに、安心して暮らす地域づくりを目指し「心の病とともに生きる」をテーマに体験者・医師による講演会とフォーラムを開催します。

▽日時 11月25日(木)午前10時～午後5時 ▽会場 文化会館小ホール ▽参加費 無料 ▽内容 体験者からのメッセージ、医師による講演(都立墨東病院神経科・春日武彦氏)、フォーラム(コーディネーター岩室紳也氏) ※講演会＝午後1時～4時30分 ▽その他 会場には幻覚疑似体験コーナー(予約制)や地域作業所の自主製品の販売があります。

講師・春日武彦氏

申 問 障害福祉課。

※予約は11月5日(金)～15日(月)。